

## 第8回国立市南部地域整備基本計画の策定に伴う 市民討議会実行委員会記録（要旨）

日 時：平成21年1月9日（金）午後7時00分～午後9時00分

場 所：市役所3階 第2会議室

出席委員：6名

欠席委員：3名

傍 聴：0名

事務局：4名

会議資料：①会議次第

②第7回実行委員会確認事項

③参加依頼書発送資料一式

### 1. 開会挨拶（小林委員長）

- ・お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。
- ・昨日、立川青年会議所の協力を得て、家坂副委員長、迎委員、佐藤委員、宮崎委員にも出席していただき、参加依頼書の発送準備作業を行いました。参加された委員の皆さんありがとうございました。
- ・参加依頼書は本日発送されましたので報告します。

### 2. 市民討議会の準備について

#### （1）事務局からの報告について

- ・第6回実行委員会で指示のあった検討事項について、次のとおり報告した。
  - ① 1日目の午後の南部地域の現地見学ツアーの実施については、バスの手配は可能である。
  - ② 2日目のケーキタイムと交流会の実施については引き続き検討する。

※情報提供者に関する内容は、市民討議会開催後に公表させていただきます。

- ・「南部地域の課題について」の情報提供者である農業委員会からの推薦は、担当部署との協議の結果、農業委員会会長とする。
- ・「広く知ってもらうにはどうしたら良いか」の情報提供者である市の広報担当者は当日の午後はどうしても都合が合わないため、代替としてミニコミ誌編集者と国立市観光まちづくり協会を紹介された。

## (2) 情報提供者について

### 【主なご意見】

※情報提供者に関する主なご意見は、市民討議会開催後に公表させていただきます。

- ・ 2日目のテーマは3つとも内容が重複しそうである。
- ・ 小針委員から本日の会議の欠席の連絡があり、「住みやすくするにはどうしたら良いか」「豊かにするにはどうしたら良いか」では夢を語ってもらい、「実現するにはどうしたら良いか」のコマでは市民、NPOなどの関係団体、行政がどう連携するかといったような戦略を考えてもらうという進め方が良さそうだという意見を預かり、私もそのような方向が良いと感じている。
- ・ 2日目のテーマの「住みやすくするには」「豊かにするには」では生活者の視点が出てくると良いと思う。住んでいる方から住みやすさのための具体的なアイデアが出てくることを期待したい。
- ・ 住みやすくというのは将来にわたってのことなので、子どもたちに「こんなまちになるといいな」という意見を聞くのも良いと思う。ただし、情報提供者としては適さないと思う。
- ・ テーマが抽象的なので、どういう内容を話し合っていたかか難しい。
- ・ 事務局から出された情報提供者候補者リストから単純に選ぶのではなく、住みやすさや豊かさの内容について委員で意見交換しイメージをあわせたい。情報提供者の選定に進みたい。(次のような意見が出た。)

#### 「住みやすい」とは

- ・ 静か
- ・ 緑や公園がある
- ・ 道路が舗装されている
- ・ 歩道がある（幹線道路）
- ・ 商店が近くにある
- ・ 交通アクセスが良い
- ・ 病院や学校施設などがある
- ・ 交通弱者の安全性が保たれる

#### 「豊か」とは

- ・ 区画整理により地価が上がる
- ・ 緑がある
- ・ 財源がある
- ・ 水路、湧水の保全
- ・ インターチェンジの活用
- ・ 公園がある、又は造る
- ・ 開発
- ・ 企業誘致

- ・ 実行委員会では中立の立場から、異なった立場の情報提供者を選ぶ必要がある。個人の考えを話してもらうので、できるだけ各テーマに2人をお願いしたい。
- ・ 1日目の情報提供者が2日目に別の話をするには問題ないと思う。
- ・ 人によって「住みやすい」「豊か」の内容は異なる。情報提供者はあくまでも事例などを話してもらい、結論を出すのは参加者としてほしい。
- ・ 南部地域に詳しい人であることが情報提供者の条件になってくると思う。私達に考

え付かないような案が出てくるのが市民討議会の利点なので、参加者の自由な意見を阻害しないような情報提供であることが求められる。

- ・情報提供者が南部地域のことを良く知っていることは条件であるが、主観だけでない話のできる人であってほしい。また住みやすさや豊かさの中身について、実行委員会で定義づけるよりも参加者に自由に出してもらおうというわけにはいかないか。
- ・実行委員会としては、何故この人を選んだかという説明ができるようにしておきたい。
- ・情報提供者に議員を選ぶ場合はもう一人も議員にしなければならず、またそれぞれの会派があることなどから、できれば避けた方がよい。
- ・豊かさとしては、経済的な視点と自然の視点を持つてはどうか。具体的には、経済の視点ということでは開発の意見をお持ちの方からと自然の視点では自然保全の立場の方からそれぞれ情報提供してもらってはどうか。
  - 区画整理事業により土地の価値が上がるので経済的な豊かさにつながると考えて、区画整理経験者からどなたか選ぶといった決め方でどうか。人前で話すことが苦手という方もいらっしゃるので、区画整理経験者から誰かということであれば、また具体的にどういう話をしてほしいかということが示すことができれば、事務局から依頼してみる。
- ・情報提供者からはいろんな意見を聞くことが趣旨なので極端な意見でもかまわないが、自分の考えだけに凝り固まっているような人では困るのではないか。
  - 最後のテーマは2日間のまとめであり、まちおこしの事例など幅広い知識が必要に思う。前回の話を覆すことになってしまうが、法政大学の高橋先生は全国的な事例に詳しいので最後のまとめのテーマの情報提供者として適任と思う。また、2日目の前半の住みやすさと豊かさについては区画整理経験者と自然保全の意見の方とを対立する形で選定してはどうか。
- ・最後のコマの情報提供者が一人となることは避けたい、ぜひ2つの視点からの情報提供とした方がよい。
  - 大学教授に2日間とも来ていただくのは難しいと思う。元教育次長で現在郷土文化館館長の平林氏は職域として農業にも歴史・文化にも関わっていたため1日目の魅力についての情報提供者にふさわしいと思うがいかがだろうか。
- ・1日目の南部地域を広く知ってもらうにはについては、ミニコミ誌の話を二人から聞くよりも観光まちづくり協会の視点でお聞きするほうがよい。

## 【集約】

※情報提供者に関する集約は、市民討議会開催後に公表させていただきます。

- ・ 情報提供者については、次のように確認された。

#### 1 日目

南部地域の魅力について：平林正夫氏（郷土文化館館長、元教育次長）

南部地域の課題について：関敏明氏（農業委員会会長）

田中和徳氏（南区自治会長、区画整理に関し意見有）

南部地域を広く知ってもらうにはどうしたら良いかについて：

国立市観光まちづくり協会から推薦してもらう

田中えり子氏（市内ミニコミ誌発行者）

#### 2 日目

南部地域を住みやすくするにはどうしたら良いか：

区画整理経験者からお一人

北島勝俊氏（城山南の農地と景観を守る会代表）

南部地域を豊にするにはどうしたら良いか：

区画整理経験者からお一人

城山南地区の区画整理を考える会からお一人

南部地域を住みやすく豊かにするにはを実現するためにはどうしたら良いか：

高橋賢一氏（法政大学大学院、都市環境デザイン工学）

佐伯茂氏（用水組合理事長、元市議会議員）

- ・ 情報提供者への対応は1月13日以降に事務局で行うものとし、必要に応じて委員長と連携をとりながら進めることで確認された。

### 3. その他

- ①事務局で1日目の午後の南部地域現地見学ツアーのルートや方法などについて検討し、次回に提案することとなった。
- ②ポスターの中央に国立市域の枠に南部地域を着色した図を載せているが、着色した部分の意味がわかりにくいため、今後印刷するものについては南部地域の注釈を入れることで確認された。
- ③当日の運営シナリオについて、委員長から提案を受けることとなった。

以上